

# がまこおり 議会 だより

## 3月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～ 7
議決された主な議案……………	8～ 11
平成 30 年度一般会計予算を修正可決 議会日誌、5 月臨時会・6 月定例会予定等 …	12

NO. 98  
2018.5





# 一般質問…ここが論点

3月市議会定例会中、2月28日、3月2日、5日の3日間で、3人の議員が会派を代表して質問し、10人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

## ■ 各会派代表質問

日程	会派名及び議員名	主な質問の項目
2月28日(水)	自由民主党蒲郡市議団 代表 伴 捷 文	<a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">産業の振興・働く場の確保</a> 安全で住みやすい、魅力ある町づくり モーターボート競走事業 <a href="#">新体育館建設</a>
	蒲郡自由クラブ 代表 牧 野 泰 広	<a href="#">公共施設の計画的な改修</a> <a href="#">市民病院の安定経営</a> <a href="#">再生医療への取り組み</a> <a href="#">都市基盤の整備</a> <a href="#">超高齢社会に対応した施策の充実</a> 名鉄西尾・蒲郡線の存続 安全で住みやすいまちづくり
	公明党蒲郡市議団 代表 松 本 昌 成	堅実な行財政運営 産業の振興・働く場の確保 <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a>

## ■ 個人質問

日程	議員名	主な質問の項目
3月2日(金)	竹 内 滋 泰	<a href="#">ラグーナ蒲郡地区</a> <a href="#">防災・減災対策</a>
	日 恵 野 佳 代	子育て・教育の環境づくり <a href="#">性犯罪・性暴力被害者支援</a> <a href="#">車がなくても暮らせるまちづくり</a>
	鈴 木 貴 晶	蒲郡の観光 <a href="#">歳入確保策</a>
	喚 田 孝 博	<a href="#">ホストタウンの推進</a> <a href="#">道の駅の設置</a>
	鎌 田 篤 司	<a href="#">今後の観光</a> <a href="#">生命の海科学館</a>
3月5日(月)	柴 田 安 彦	予算大綱説明 <a href="#">土地区画整理事業</a>
	大 向 正 義	<a href="#">高齢者対策と居場所等</a> <a href="#">新体育館建設</a>
	新 実 祥 悟	まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ <a href="#">公式SNS</a>
	青 山 義 明	<a href="#">河川堤防の老朽化対策</a> <a href="#">車からのごみのポイ捨て</a> <a href="#">ほ場整備</a>
	尾 崎 広 道	<a href="#">災害復興住宅</a> <a href="#">まちづくりのビジョン</a>

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。



自由民主党蒲郡市議団  
代表 伴 捷文

堅実な行財政運営の  
考え方は

**問** 平成30年度の予算編成にあたり、配慮した点について伺う。

**答** 将来の町づくりの大きな目標である「夢と希望に満ちた、明るく輝く元気な町」を目指し、重点的、効果的な予算配分に留意し、市民の皆さんが健康であることが第一と考え、さらなる健康増進につながる事業や安心して子育てができる体制整備に配慮した。

公共施設マネジメント  
について

**問** 地区個別計画の策定をどのように進め、事業に着手していくのか。

**答** 30年度も2地区でワークシヨップを実施し、31年度までに全7地区の地区個別計画の策定を考えている。事業は、地区個別計画を策定した地区で実施が可能なものから順次着手していきたい。

市民病院の安定経営  
について

**問** 休床していた病床を再開した背景は。

**答** 病床稼働率が高まっていることに加え、新たな医師の確保等により、今後も稼働率の上昇が予想されるため、60床を再開した。30年度から始まる人間ドック事業の受診希望者の見込みは。

**答** 国民健康保険被保険者の受診希望者は485人で、追加も見込まれる。また、他の健康保険組合か

らの受診も見込まれる。

新体育館建設の考え方は

**問** 新体育館建設に対する考えは。

**答** 求められる機能・ニーズを把握し、幅広い年代が魅力を感じる施設にしなければならぬと考えている。具体的にどのような施設にするかは基本計画の中で定めていきたい。

蒲郡自由クラブ  
代表 牧野泰広

一色最終処分場の今後  
について

**問** グラウンド等としての活用の可能性を伺う。

**答** 処分場の廃止時期ははっきりしないが、廃止後の跡地活用については、庁内の関係部署による会議を開き、検討を進めている。企業用地の造成やグラウンドとしての活用について、課題を含めた可能性の整理を始めている。

市民病院の安定経営  
について

**問** 国が示している平成30年度の診療報酬改定をどう捉えているか。

**答** 市民病院が届け出ている一般病棟7対1入院基本料は10対1入院基本料と再編・統合され、急性期一般入院基本料に一本化される。10対1看護配置を基本として、重症度、医療・看護必要度の該当患者割合に応じた7段階の診療報酬



地域医療を支える市民病院

が設定される。今すぐに看護配置の見直しはしないが、診療報酬改定には柔軟に対応していきたい。

**問** 患者にワンストップでプライマリケア（総合的な医療）を提供すべきと思うが、考えを伺う。

**答** まずは、地域の開業医をかかりつけ医としてもらい、市民病院は二次医療機関として専門的医療が必要な患者へ適切な治療を提供する。救急外来などの現場では、医師として幅広い判断も必要となり、総合的な医療知識を幅広く身につけることが重要である。今後は、総合診療科の新設も検討していきたい。

再生医療の新たな可能性  
について

**問** 市民病院における今後の再生医療の新たな可能性や計画について伺う。

**答** まずは、実現の可能性が非常に高まった白斑治療について、着実に進めることを最優先に考えている。今後、高まる医療ニーズに対して再生医療が果た

す役割がさらに大きくなっていくと予測している。すでに保険適用が認められている膝軟骨など、白斑以外の再生医療についても、実施の可能性を研究していく。

### 中部土地地区画整理事業の進捗は

**問** 29年度と30年度の補償と工事の状況は。

**答** 29年度は、物件移転18件、道路築造工事延長約400mを完了する予定である。事業の執行率は、事業費を基にすると約82%、物件移転戸数や道路整備延長を基にすると、それぞれ約85%の見込みである。30年度は、物件移転を14件、道路築造工事延長約700mを行う予定である。

### 超高齢社会に対応した施策の充実を

**問** 市の高齢化のピークがいつになると予測しているか。

**答** 平成29年10月1日現在、本市の高齢者人口は2万3251人で、高齢化率



は28・8%である。東三河広域連合の推計では、平成32年にピークを迎え、高齢者は2万3303人となる。なお、高齢化率は平成52年には34・6%に上る見込みである。また、団塊の世代が全員75歳以上になる2025年問題があるが、本市の75歳以上の人口のピークは平成38年で、平成29年10月1日現在の1万1798人から約1900人増加し、1万3701人になると予測されている。

**問** 地域包括ケアを推進していく中で、様々なサービスを提供する際に発生している課題と、その解決策について伺う。

策について伺う。

**答** 介護予防教室等の会場までの移動が困難との声があり、歩いて行ける場所での開催や移動手段の確保が課題と感じている。

課題解決のため、今後は、市内にある公民館の区域ごとに11の協議体を設置し、地域の実情に合わせた事業展開を検討する。また、各地区の協議体の検討内容等について、情報交換や情報共有を図るとともに、課題を集約し、市内全域での施策展開に役立てたい。

### 公明党蒲郡市議団代表 松本昌成

### 都市基盤の整備について

**問** 国道247号鹿島バイパスの整備状況は。

**答** 大型商業店舗2業者の道路寄附の合意に基づき、市、警察及び道路管理者の県が協議中である。今後、地元への説明、関係機関との調整が終われば、公安委員会と信号機設置の協議を行い、2業者が道路寄

附の申請、道路築造を行う予定である。信号機を平成30年度内に設置できるよう、市は引き続き調整や業者への指導を行っていく。

### 子育て世代の支援について

**問** 31年度開設予定の児童発達支援センターの事業内容と準備状況は。

**答** 発達支援児等に対する地域の中核的支援施設として、地域に住む発達に



健やかな成長が望まれる子どもたち

気がかりさのある子どもやその家族への相談・支援、子どもたちの通う保育所等への助言・援助などを行う。同時に開設を予定している子育て世代包括支援センターや保健師と連携しやすく、また、母子が妊娠期から健康診査等で来所することから、保健医療センターでの開設を考えている。

**問** 放課後児童クラブの受け入れ体制の充実は。

**答** 30年度から、待機児童を解消するため、3小学校（大塚・蒲郡南部・中央）で教室をクラブ室として利用する。また、学校から遠い形原北児童クラブについては、形原北小学校の敷地内にクラブ用施設を新設し、31年度から開設する。

### 母子保健の充実について

**問** 産婦健康診査事業の概要について伺う。

**答** 産後の心身の健康の保持増進、異常の早期発見・早期治療、産後うつの子防を図り、安心して子育てができることを目的に健



子どもたちの学びを深める学校図書館

**教育環境の充実を**

康診査を実施し、その費用を助成する。市内に住所を有し、30年4月1日以降に出産した産婦を対象とし、産後8週までに医療機関や助産所で健康診査を受診した際の費用を助成する。

**問**

学校図書館支援の充実について伺う。

**答**

学校図書館支援員の派遣時間を増やすことで、

**人にやさしいまちづくりの推進について**

より一層の環境整備、授業サポートなど支援の充実を図る。今後も学校と支援員がしっかりと連携し、子どもたちの学びを深める学校図書館づくりが進むよう支援していく。

**問**

経済的困窮により、学習機会が得られない子どもへの、学習支援の取り組みについて伺う。

**答**

生活保護や就学援助の受給世帯で、希望する小学生に対して、週1回、蒲郡駅から近い公共施設で、定員を20名とし、無料での学習支援を予定している。

**竹内滋泰（自民党市議員）**

**ラグーナ蒲郡地区について**

**問**

株式会社ラグーナテンボスの経営状況は。

**答**

直近の決算期でのラグーナシアの入場者数は82万4千人で前年同期比109%、全体の売上高は約43

**防災・減災対策の充実を**

億2千4百万円で前年同期比104.5%、全体の経常利益は約4億2千8百万円で前年同期比129.7%だった。ナイトプールの営業により、多くの来場者で賑わったという事業報告を受けている。

**問**

全線開通した国道247号中央バイパスを緊急輸送道路とする考えは。



平成29年11月に全線開通した国道247号中央バイパス

**答**

国からの支援物資を地域内輸送拠点のモーターボート競走場に輸送するのに適した道路である。県に対して、緊急輸送道路への指定のための広域受援計画の変更を要請したい。

**日恵野佳代（無党派・日本共産党）**

**性犯罪・性暴力被害者支援について**

**問**

「性暴力救援センター 日赤なごや なごみ」は、性犯罪等による被害直後から総合的な支援を行い、24時間体制で電話相談を受け、被害者の精神と身体の回復を図っている。こうした機関の連絡先を市や小中学校で周知してはどうか。

**答**

学校現場での対応に加え、県や警察と相談し、市としてできることを検討していきたい。

**車がなくても暮らせるまちづくりを**

**問**

高齢化率県内2位の蒲郡市で早く市内全域に巡回バスを走らせるよう、



あじさいくるりんバス

**答**

予算を増やすべきではない。平成30年度の見込みは、32年度までに交通空白地域をなくす約束をしている。事業の遅れを反省し、強化策を講じて、30年度内に何らかのめどが立つようにしたい。

**鈴木貴晶（自由クラブ）**

**ふるさと納税について**

**問**

底引き網漁体験など、市の魅力を伝えられる



ふるさと納税の返礼品を提  
供できるようにするため、  
10万円以上の寄附をいただ  
いた際の返礼品プランを検  
討する考えはあるのか。

**答** 10万円以上の寄附に対  
する返礼品プランを設  
けても問題がないと考えら  
れるため、今後、導入の検  
討をしていきたい。

**問** 返礼品提供事業者の募  
集にあたり、市内の商  
品をよく知っている商工会  
議所と連携する考えはある  
のか。

**答** 市の魅力や特産品のP  
Rを行う際に、商工会  
議所に協力していただくこ  
とは大変有効だと考える。  
返礼品提供事業者の募集に

については、ホームページや  
広報での周知に加え、市内  
の産業振興や活性化につな  
がる方策を商工会議所に相  
談するとともに、連携した  
取り組みを進めていきたい。

**喚田孝博（自民党市議団）**

ホストタウンへの  
取り組みは

**問** 東京オリンピックの際に、  
ホストタウンとなることを  
検討しているか。

**答** 登録申請には、相手国  
からの内諾等を前提とし、  
大会前後の一過性では  
ない交流計画が必要とされ、  
相手国と姉妹都市関係や特  
別な人脈等がない状況下で  
の交渉は困難である。今後、  
申請要件緩和なども期待し  
つつ、情報収集のアンテナ  
を高くして検討を続けたい。

**道の駅の設置について**

**問** 設置主体の緩和がされ  
ているが、設置に向け  
た考えは。

**答** 国家戦略特区制度によ  
る特例として、区域内  
に限り設置主体が民間にも  
拡大された。制度の内容を  
研究し、民間による設置の  
可能性について検討してい  
く。

**鎌田篤司（自民党市議団）**

愛知ドステイネーション  
キャンペーンについて

**問** 市のキャンペーンに対  
する連携の考えは。

**答** 市が加入している県の  
大型キャンペーン実施  
協議会では、このキャンペ  
ーンを成功させるため、周  
遊促進施策としてフリー切  
符の発行などを検討してい  
る。市としても積極的に関  
わり、相乗効果が発揮でき  
ればと考えている。

**生命の海科学館の今後  
について**

**問** 生命の海科学館の今後  
の方向性は。

**答** 平日の団体来館者数の  
増加に努めつつ、科学  
教育施設として小中学校の



ワークショップを楽しむ子どもたち

授業での活用に向けた積極  
的な提案を行っていきたい。  
また、理科学好きの子ども  
たちの育成のためのワーク  
ショップの開催や大学等と  
の連携を強化し、科学の普  
及を目的に質の高い展示や  
活動を目指していきたい。

**柴田安彦（無党派）**

**土地区画整理事業について**

**問** 施行中の3つの事業に  
おいて、仮換地指定の  
際に過渡し・不足渡しをど  
のように通知したか。

**答** 仮換地指定通知におい  
て、蒲南地区では過不  
足面積を記載していないが、  
中部地区、駅南地区では記  
載して通知している。

**問** なぜ蒲南地区では通知  
しなかったのか。

**答** 土地区画整理法では通  
知の際の過不足の明記  
について規定されていない  
ため通知しなかった。中部  
地区、駅南地区では蒲南地  
区の状況を受けて市の判断  
で通知した。

**問** 今回発見された蒲南地  
区の個別通知書の清算  
金案誤りの件数と金額は。

**答** 件数は6件で、金額は  
約149万円である。  
このうち最高額は約36万円  
であった。該当者には、謝  
罪に伺い、経緯を説明して、  
訂正後の金額を記載した書  
類をお渡しした。

**大向正義（自民党市議団）**

**老人クラブの活性化  
について**

**問** 地域で介護予防に取り  
組む「いこいの場」な  
どを運営する地区の老人ク

クラブを支援する制度を設けてはどうか。

**答** 平成30年度から支援制度を設ける。この支援により、老人クラブの活動の活性化を期待している。

### 新体育館建設について

**問** まちづくりという観点で新体育館を考えるなら、現体育館を耐震化し、公共施設マネジメントの中で、西地域だけでなく全市的な検討が必要ではないか。

**答** 公共施設マネジメントの中で検討すると、新体育館の建設が遅くなり、耐震性の乏しい現体育館では人命に関わるような被害も考えられる。一日でも早く、安心して利用できる施設の建設に取りかかる必要があると考えている。

### 新実祥悟（無党派）

インスタグラムなどSNSの活用を

**問** 公式インスタグラムを開設した手応えは。



**答** シティプロモーションの一環として平成29年5月に開設し、当初の目標を大幅に超えるフォロワー数となっている。インスタグラムを開設している他市と比較すると人口規模を考慮しても、その数は多く、SNS利用者に支持されていると認識している。

**問** インスタグラムなどSNSの今後の展開は。

**答** 29年11月に赤い電車応援企画と連携して、インスタグラムフォトコンテストを開催した。30年1月と2月には、定住促進企画の蒲郡生活1泊体験ツアー

と連携するなど、市の広報基盤として徐々に利用が広がっている。今後は、様々なイベントや事業との連携を図り、観光客や定住者の増加のきっかけとなるように、市の魅力発信を行ってきたい。

### 青山義明（自民党市議員）

河川の拡幅・改修状況は

**問** 県が管理する河川の拡幅・改修の状況は。

**答** 河川整備計画に基づき、県が整備を進めている。落合川では河道拡幅のため冷越橋の上流左岸の護岸ブロック工を施工する。



国道247号中央バイパスの  
ごみのポイ捨て対策は

**問** 道路の管理方法を含め、今後の対策を伺う。

**答** 定期的な道路清掃に加え、中央分離帯をコンクリートに改修するなど、関係機関とも連携しながら対策を検討していく。

農地中間管理機構関連  
農地整備事業について

**問** 平成30年度から始まる本事業の概要を伺う。

**答** 農地の基盤整備をするもので、要件を満たせば事業費の農家負担分を国が補助するものである。

### 尾崎広道（自由クラブ）

災害復興住宅について

**問** 民間賃貸住宅を災害復興興住宅として活用する場合の問題点と、その解決策は。

**答** 大家が特定の人の入居を拒んだり、借りる人



が保証人を立てられないなどの問題がある。解決策として、入居拒否しないことを事前に了解する登録制度の創設や、保証協会へのあつ旋などが考えられる。

### 狭あい道路について

**問** 狭あい道路の定義について伺う。

**答** 明確な定義はないが、建築基準法第42条第2項に規定される幅員4m未満の道路を想定している。

**問** 調査の進捗状況について伺う。

**答** 全路線の現地調査は完了しているが、検証作業の完了にはあと数年かかると思われる。

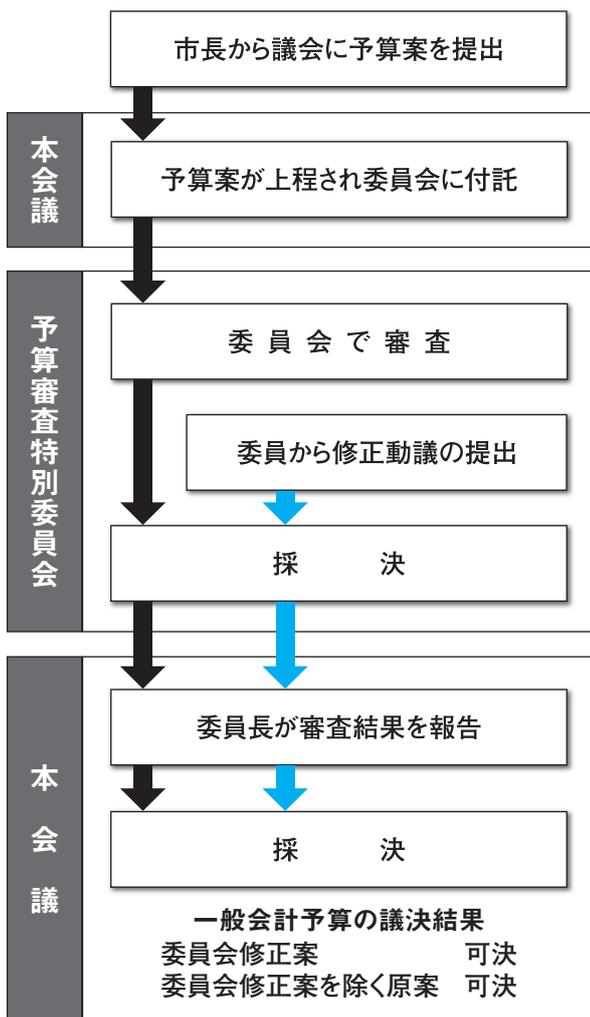
# 平成30年度一般会計予算を修正可決

3月定例会  
議案

3月市議会定例会は、2月26日から3月22日までの25日間の会期で開き、議案32件、請願1件を審議しました。

平成30年度一般会計予算の修正可決など、主な内容をお知らせします。

## 平成30年度一般会計予算審査の流れ



➡ 市長から提出された予算案      ➡ 修正案

## ■平成30年度予算

会計別		予算額	前年度比	
一般会計		292億4,188万1千円	6.4%増	
特別会計	国民健康保険事業	75億6,580万円	20.3%減	
	後期高齢者医療事業	20億5,060万円	3.7%増	
	土地区画整理事業	14億6,740万円	9.1%減	
	企業用地造成事業	1億9,790万円	837.9%増	
	公共用地対策事業	1億3,740万円	19.5%減	
	下水道事業	25億4,690万円	6.0%減	
	三谷町財産区	3,190万円	11.9%増	
	西浦町財産区	1,310万円	増減なし	
小計		140億1,100万円	36.3%減	
企業会計	水道事業	収益的	19億490万円	6.1%増
		資本的	11億530万円	4.4%増
	病院事業	収益的	81億2,970万円	4.4%増
		資本的	11億5,280万円	24.9%増
	モーターボート競走事業	収益的	931億6,920万円	15.5%増
	資本的	30億9,050万円	14.6%減	
小計		1,085億5,240万円	13.3%増	
合計		1,518億528万1千円	4.5%増	

3月定例会では、平成30年度一般会計予算を修正可決しました。予算を修正可決したのは本市議会では初めてのことです。

■市長から提出された平成30年度一般会計予算案  
歳入歳出それぞれ292億6千7百万円で、前年度比で17億7千6百万円、6・5%の増となりました。

歳出には、市民体育館をポートレース場南東駐車場敷地に建て替えるため、30

本市議会で初めての  
予算の修正可決



現在の市民体育館

年度に基本設計、31年度に実施設計をすることを内容とした新市民体育館建設準備事業費2511万9千円が計上されていました。

また、この予算案には、新市民体育館建設準備事業について、期間を平成31年度、限度額を6千7百万円として、あらかじめ後年度の債務を設定する債務負担行為を含みます。

●修正の経過とその内容  
■予算審査特別委員会  
2月26日の本会議で、18人の委員で構成する予算審査特別委員会（委員長 竹内滋泰、副委員長 広中昇平）を設置し、30年度一般

### 3月定例会の日程

#### 《2月》

26日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、  
予算大綱説明、議案説明など〕  
予算審査特別委員会

28日 本会議〔一般質問〕

#### 《3月》

2日 本会議〔一般質問〕

5日 本会議〔一般質問〕

7日 総務委員会

8日 経済委員会

9日 文教委員会

12日 予算審査特別委員会

13日 予算審査特別委員会

14日 予算審査特別委員会  
議会運営委員会理事会

15日 予算審査特別委員会

22日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、  
採決など〕

会計予算など12会計予算の審査を付託しました。  
委員会では、3月12日から15日までの4日間にわたり審査を行い、14日の審査終了後に30年度一般会計予算に対する修正案が2件提出されました。  
1件目は大向正義委員、喚田孝博委員、稲吉郭哲委員から提出されました。  
「現在の市民体育館は、老朽化し、耐震性が乏しいため、新市民体育館の建設に取り組むことは理解できる。しかし、市民のための体育館であるという明確なビジョンが示されず、ポートルース場南東駐車場敷地を最適地とすることは、防災、

社会教育、今後のまちづくり等の観点からも疑問が残る。新市民体育館建設は人口減少問題を勘案し、将来に禍根を残さないための最良の方法でなくてはならない。」とし、歳出の新市民体育館建設準備事業費2511万9千円と、その財源となる歳入を同額減額し、新市民体育館建設準備事業に係る債務負担行為を削除する修正案です。  
2件目は柴田安彦委員から提出されました。  
「設楽ダム建設は必要ない。住民のための公共施設の統廃合を議論しなければならぬ状況で、一営利企業に多額の支援をしている場合



本会議での採決の様子

ではない。市民体育館については、建て替えの方針を見直すべきである。」とし、大向正義委員ほか2名からの修正の内容に加え、歳出の豊川水源関連負担金及びラグーナ蒲郡運営事業支援交付金と、その財源となる歳入を同額減額する修正案です。  
それぞれの提案委員からの修正案の説明後、質疑、討論、採決を行いました。  
委員会での採決の結果、2件の修正案の共通部分で

ある大向正義委員ほか2名から提出された修正案と、修正部分を除く原案を可決すべきものと決しました。  
●本会議（最終日）  
3月22日の本会議最終日では、予算審査特別委員長が委員会での審査経過及び結果を報告した後、委員会で可決すべきものと決した修正案を説明しました。  
討論では、原案賛成の立場で松本昌成議員が、修正案賛成の立場で柴田安彦議員と青山義明議員が、修正案賛成、修正案を除く原案反対の立場で日恵野佳代議員が登壇しました。  
討論の後に採決を行い、修正案は賛成多数で可決されました。続いて、修正案を除く原案も賛成多数で可決されました。  
その結果、30年度一般会計予算は、歳出の新市民体育館建設準備事業費2511万9千円と、その財源となる歳入が同額減額され、歳入歳出それぞれ292億4188万1千円となり、新市民体育館建設準備事業に係る債務負担行為は削除されました。

### 議会のことば

●議案の修正 市長から議会に議案（条例の制定・改廃、予算等）の提出があった場合、一般的には委員会で審査し、本会議で議決を行います。議案の内容に対し、議員（委員）は必要に応じて修正することができます。議案の修正を行う場合、修正案を添えた修正動議を提出することになります。

蒲郡市議会会議規則において、委員会では1人でも修正動議を提出できますが、本会議では2人以上でなければ修正動議を提出できないと定められています。

●再 議 議会の議決に異議がある時は、市長が審議のやり直し（再議）を求めることができます。今回の平成30年度一般会計予算の修正可決に際しては、市長から再議を求められませんでした。

## 条例の制定・改正

### 総合的かつ計画的な 空き家等対策の実施へ (第3号議案)

空き家等の倒壊や火災等の事故、犯罪等を未然に防ぎ、良好な生活環境の保全と安全・安心なまちづくりを推進することを目的に、本市では空き家等適正管理条例が県内で最も早く、平成25年10月1日に施行されました。

その後、全国的にも問題化した適切な管理が行われていない空き家等に対応するため、27年5月26日に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されました。今後、この法に基づき、空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な方針等を定める空家等対策計画を作成し、そのまま放置することが不適切な空き家等に対する措置の方針などを協議する協議会を設置するために条例の改正を行います。

### ●総務委員会での主な質疑 問 市民からの相談に対応

するために、土地家屋調査士等と協定を結ぶ予定があるか。

答 他市では、そういった事例があり、本市においても、今後検討していきたいと考えています。

問 市が利用することができ、空き家の所有者等に関する情報はこういったものか。

答 税や登記に関する情報を利用することができます。

また、電気、水道等の使用状況を、事業者等に問い合わせることができます。

### ●ごみ屋敷条例を制定 (第6号議案)

近隣住民から相談を受けた市が、ごみ屋敷の現場を確認し、必要な情報の収集、立ち入り調査を行った上で、地域や関係機関等と連携しつつ、福祉的・社会的な支援や指導を基本に、安全で快適な生活環境の確保を図っていきます。

今後は、必要に応じて居住者等に代わって市が措置を行う代執行や、近隣住民に切迫した危険があると認められるときには、市が緊



急安全措置を実施できるようになります。

●経済委員会での主な質疑  
問 本条例による立ち入り調査は、住居不可侵の原則に違反することにならないか。

答 不必要・過剰な調査でなければ適法であり、住居不可侵の原則に違反しないと顧問弁護士から見解を得ています。

問 所有者の意思に反して堆積物を廃棄物と判断できるのか。

答 所有者の意思に加え、堆積物の性状、排出の状況、通常の取り扱い形態、取引価値の有無などを総合的に勘案して判断します。

ただし、堆積物等を撤去

する場合には、必要に応じて一時保管等の対応も検討していきたいと考えています。

### ●国民健康保険税の 資産割を廃止 (第11号議案)

県が策定した愛知県国民健康保険運営方針を踏まえ、国民健康保険税の課税方式を現在の4方式(所得割、資産割、均等割、平等割)から資産割を廃止し、3方式(所得割、均等割、平等割)に変更します。資産割の廃止とともに、所得割と均等割を引き上げる税率等の改定を行います。なお、税負担が増える世帯に対する激変緩和措置として30年度、31年度の2カ年で段階的に改定を行います。

●文教委員会での主な質疑  
問 資産割廃止の影響額は。

答 現行税率で試算した場合、30年度で約1億5千万円になります。

### ●本会議での主な論点

賛成 税率は適正であり、負担増の被保険者にも配慮

反対 資産割廃止分を一般

会計から繰り入れて負担増にならないようにすべきだ。

### その他の議案

#### ●監査委員の選任 (第14号議案)

委員大岩敏郎氏の任期が平成30年5月8日に満了するため、永川貴士氏を委員として選任することに同意しました。

#### ●教育委員会教育長の任命 (第15号議案)

教育委員会委員(教育長)廣中達憲氏が30年3月31日に辞任するため、大原義文氏を教育長に任命することに同意しました。

## 請願

### ②蒲南土地区画整理事業に関する請願書

提出者 安藤 順市ほか 194名

審査結果 不採択

(○内の数字は請願番号)

■ 全会一致で可決・同意した議案 (○内の数字は議案番号)

- ③ 空き家等適正管理条例の一部改正
- ④ 住居等の不良な生活環境を解消するための条例の制定
- ⑤ 手数料条例の一部改正
- ⑦ 東三河都市計画春日浦地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等の一部改正
- ⑧ 都市公園条例の一部改正
- ⑨ 少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正
- ⑩ 監査委員の選任
- ⑪ 教育委員会委員の任命
- ⑫ 後期高齢者医療に関する条例等の一部改正
- ⑬ 教育委員会教育長の任命
- ⑭ 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ⑮ 平成30年度公共用地対策事業特別会計予算
- ⑯ 平成30年度三谷町財産区特別会計予算
- ⑰ 平成30年度水道事業会計予算
- ⑱ 平成30年度病院事業会計予算
- ⑲ 平成29年度一般会計補正予算 (第7号)
- ⑳ 平成29年度土地区画整理事業特別会計補正予算 (第1号)
- ㉑ 平成29年度下水道事業特別会計補正予算 (第4号)

■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党 蒲郡市議団							蒲郡自由クラブ					公明党 蒲郡市議団			無会派				
		大場康議	伴捷文	喚田孝博	大向正義	鎌田篤司	竹内滋泰	青山義明	尾崎広道	鈴木基夫	広中昇平	稲吉郭哲	牧野泰広	鈴木貴晶	伊藤勝美	松本昌成	大竹利信	日恵野佳代	来本健作	新実祥悟	柴田安彦
1	市職員の退職手当に関する条例等の一部改正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
2	個人番号の利用に関する条例の一部改正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	東三河広域連合への介護保険の保険者統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	国民健康保険条例の一部改正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	国民健康保険税条例の一部改正	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成30年度一般会計予算に対する修正案	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度一般会計予算(修正案を除く原案)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成30年度国民健康保険事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成30年度後期高齢者医療事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成30年度土地区画整理事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成30年度企業用地造成事業特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成30年度モーターボート競走事業会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願2	蒲南土地区画整理事業に関する請願書	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○

※大場康議議員は議長職により採決には参加していません。

### 東三河広域連合議会

2月7日、8日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、平成30年度一般会計予算、介護保険特別会計予算、条例案など計12議案を可決・同意しました。また、一般質問では蒲郡市選出の鎌田篤司議員が「東三河広域連合における課題」及び「東三河地域における今後の広域連携のあり方」について質問をしました。

### 5月臨時会・6月定例会予定

5月市議会臨時会は5月

## 議会日誌

12月27日から4月5日

#### 1月

- 18日 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会
- 29日 議会運営委員会理事会

#### 2月

- 8日 中央小学校議場見学
- 15日 議会運営委員会理事会
- 19日 3月定例会招集告示  
議案説明会  
当初予算説明会
- 22日 議会運営委員会  
議会運営委員会理事会
- 26日～3月22日 3月定例会

#### 3月

- 22日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会

#### 4月

- 5日 議会だより編集委員会  
議会運営委員会理事会

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

議会だよりは点字版、テープ版・CD版も発行しています

14日(月)に、6月市議会定例会は6月13日(水)に開会する予定です。詳しい日程は、議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。

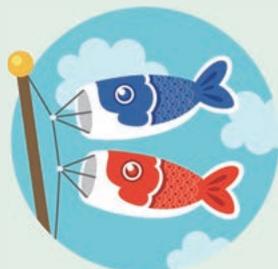


二元代表制の一翼を担う地方議会において、市民の皆様の様々な声を市政に反映させていくことが市議会議員としての役割であると認識しています。

そのような中、3月定例会において、蒲郡市議会として初めて市長から提出された平成30年度一般会計予算案に対する修正動議が提出され、賛成多数で可決されました。

当初予算案の修正は、本市議会では初めてということもあり、議案内容の慎重な審査はもとより、地方自治法の検証、他市における過去の先例や議会運営のあり方を勉強し直し、様々な議論を重ねました。

今後も、このまちが抱える課題と真摯に向き合い、市民の皆様からの声に耳を傾け、蒲郡市の将来ビジョンを見据えた議会として、まい進してまいります。



### 議会だよりをスマホへ配信します！

QRコードを読み込むか「マチイロ」で検索



無料です！

また、議会だよりは蒲郡駅(観光交流センターナビテラス)、市民病院、市立図書館にも置いてあります。

### 今月の表紙

## 竹島園地 俊成苑

平安時代後期から鎌倉時代前期にかけて活躍した歌人であり、蒲郡開発の祖と称される藤原俊成卿の名を冠する俊成苑は開苑10周年を迎えます。

蒲郡のシンボルである竹島を眺めながら、青々とした芝生の上で、蒲郡の歴史と自然を感じることもできるすてきな場所です。皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

